



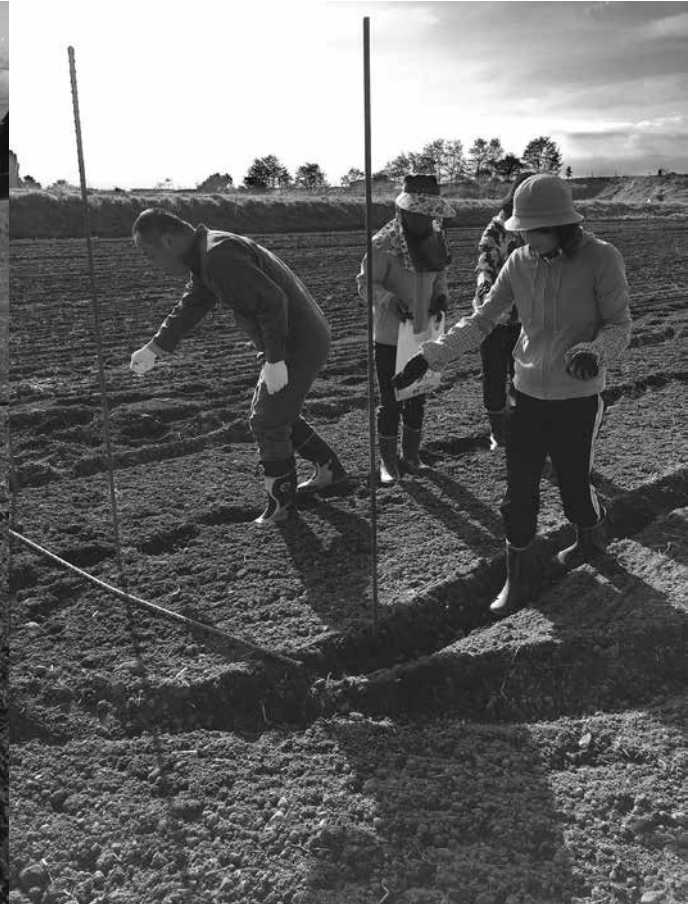
優れた、より良い福祉コミュニティをめざして

ふれあいネットワーク

まほろば

社協広報

第76号



アマニの種まき「栽培に挑戦!!」／ぼぼねっと企画／平成29年5月16日

環境と福祉の統合

～より豊かな「ケア」の営みをめざして～

福祉の重要なテーマに「ケア」があります。これは「人と人との関わり」をその領域として、「介護や保育」「生活支援」として実践されます。また、これが「地域や社会の生活環境」をその領域とすると、「地域福祉」「社会福祉」として展開されます。

しかし、この「ケア」の営みをより豊かなものとするためには、「自然環境」から自ずともたらされる恵みを、その領域に包含することがもとめられます。

山形村では、「環境と福祉」を「統合」する試みが、今、はじまっています。

山形村社会福祉協議会／ぼぼねっと企画／事務局

平成29年度 事業計画/会計予算概要報告	1・2
平成28年度 助成金交付事業の結果報告	1
寄稿①「アマニの花が咲く山形村を夢見て」	3
寄稿②「定年就農の会」の活動から考える	4
ボランティアグループの紹介	5・6
福祉なんでも相談／行政心配ごと相談	7

平成29年度山形村社会福祉協議会/事業計画概要報告

～誰もが安心して暮らせる福祉の地域をつくるために～

去る平成29年3月24日、平成29年第2回山形村社会福祉協議会評議員会が開かれ、事業計画について審議されました。

法人運営部では、社会福祉法人制度改革に伴う業務全体の見直しを行い、定款の変更や就業規程例規の見直しをし、抜本的な改革が行われることとなりました。

財務規律の強化に取り組み、管理会計と財務会計の2局化で管理をし、財務の見直しや法人財産の明確化を図って行くこととなりました。

年に4回発行している『広報まほろば』とホームページについては、社会福祉協議会が取り組む事業の報告並びにその周知、村内外の福祉情報の提供や、住民一人ひとりが地域福祉の担い手として活躍できるよう、その環境づくりのために、今あるホームページの見直しにも着手することとなりました。

住民の皆さんの支え合い・助け合いや、生きがい・働かぎの創造と、憩いの場・ふれあい交流の機会をつくるため、公益事業として『ぼねっと企画』の運営の活性化を図り、遊休荒廃農地を活用しアマニの栽培などにも取り組むこととしています。

地域福祉推進事業部では、本年度より本格的に展開します介護予防・日常生活支援総合事業について、生活支援コーディネーター活動、住民のパワーが必要となるボランティア活動の活性化を図っていくこととなりました。

通学期の障害児に対する放課後デイサービスの充実、障害者の生活支援・就労支援相談や、外部講師による研修会の開催等も行なっていきます。

介護保険事業部では、介護予防・日常生活支援総合事業の訪問型サービスAをヘルパーステーションいちいの里で、通所型サービスAをデイサービスセンターいちいの里で開始します。

他の事業所でもより多くの方々に利用していただけるように、サービスの充実を図り、地域で生活する住民一人ひとりが、生きがい感に満たされた暮らしができるように支援していくこととなりました。

平成28年度 助成金交付事業の結果報告

山形村社会福祉協議会の会費または共同募金配分金を財源にして、下記の団体に対し助成金を交付しました。

地域福祉団体等助成金	(財源 社協会費)	社会福祉協力校事業助成金	(財源 社協会費)
・山形村遺族会	助成金額 80,000円	・山形小学校	助成金額 50,000円
・山形村知的障害者育成会	助成金額 40,000円	・鉢盛中学校	助成金額 50,000円

指定地域福祉活動支援事業助成金報告		(財源 共同募金)
団体名・グループ名	内 容	助成金額
山形村エコライフを考える会	資源の活用とごみ減量化のためにボランティアで実践活動事業	25,000円
健康マージャン塾	高齢者の生きがいの場を提供し、健康寿命延伸につなげる	25,000円
山形村囲碁クラブ	囲碁を通じての仲間作り活動	25,000円
山形村食生活改善推進協議会	食を通じて村民の健康を守る活動	25,000円
豪華な花を楽しむ会「ミリオンベル」	花と親しむ、花と遊ぶ、花を探すをテーマに花を通じた交流の場としての活動	25,000円
暁岳流詩吟道場	詩吟普及活動	25,000円
人形劇サークルてぶくろ	施設等を訪問し、人形劇や手遊びによる交流活動を行う	25,000円
山形村史談会	郷土の歴史・文化等を検証し後世に正しく伝える事業を行う	25,000円
フラサークル	フラダンスの練習を通して健康作り、仲間作りをして地域の役に立つ	24,379円
そらまめの会	留守家庭児童の交流の場づくり	25,000円
中大池健康花づくりの会	公民館敷地花壇整備とシニアの仲間づくり	20,000円
シニア大山形会	シニアグループの社会参加	25,000円
自然保護集団 アクアの会	水生生物(魚・水生昆虫・植物等)の保護・増殖及び自然体験活動	25,000円
やまがたウィンドアンサンブル	施設等を訪問し、楽器演奏による交流活動	25,000円
山形わんぱく広場	親子で育てて食べる食育体験	25,000円
おはなしの会	子どもと大人のためのおはなしの会(児童館・図書館)	1,800円
山形村音楽クラブ	施設を訪問する等コーラスを通じて交流活動	25,000円
薪倶楽部やまがた	間伐材等を利用した新エネルギー協働調達事業	25,000円
上大池老人クラブ	高齢者の地域仲間づくり スポーツ・旅行・親睦会等	25,000円
やまご保育園	親子のふれあい広場	25,000円
清水高原アートフェスティバル実行委員会	清水高原アートフェスティバル「森の中のアート散歩」	25,000円
グラウンドゴルフ同好会	高齢者の健康増進と生き甲斐支援及び児童との交流	15,000円
ミトンの会	老後に向け、心身共に自立し、豊かに充実した生活を送るため学習し発信していく	25,000円
体操クラブ	トレセンにて健康づくり体操	17,200円
彌磨太鼓	和太鼓で元気あふれる音を村中で届ける活動	25,000円
やまがたハッピーママ	公民館でお下がりに交換会	8,180円
やまがた風土考房	ツリーハウス企画カフェ	25,000円
合 計		611,559円

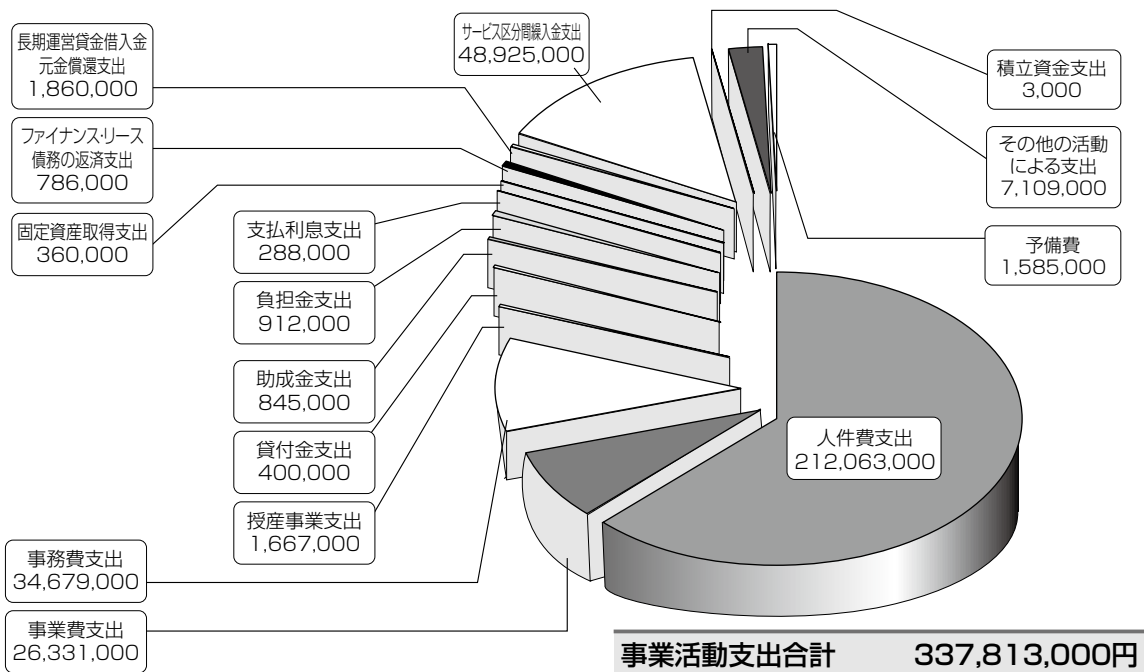
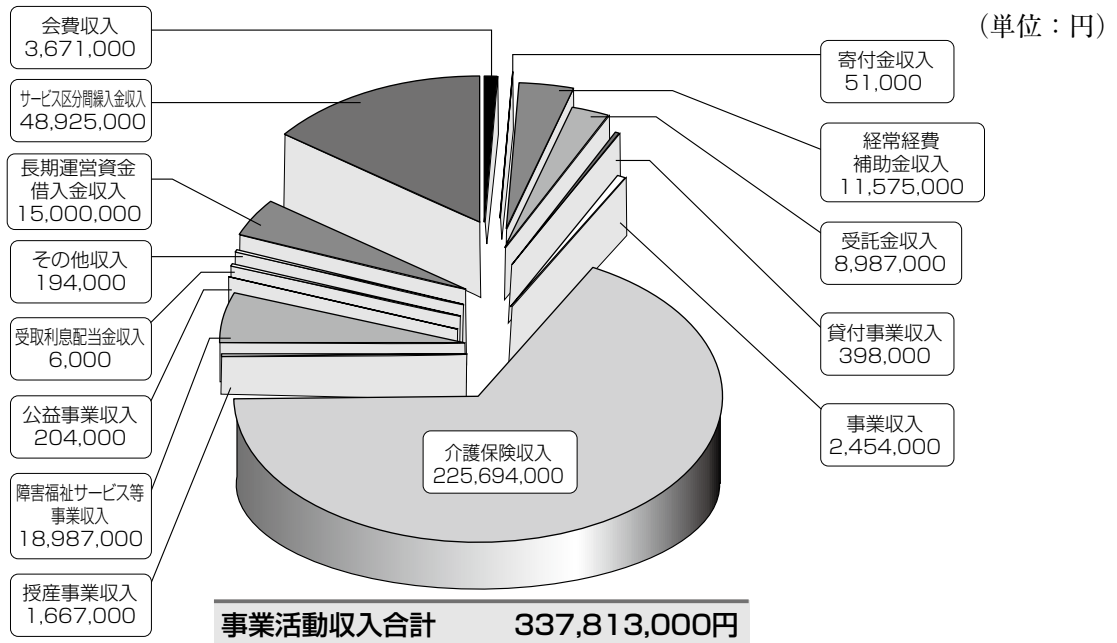
会計予算概要報告

～平成29年度の取り組みがスタート～

また、平成29年度の会計予算についても審議され、決定されました。

事業計画に基づき今年度は、収入及び支出それぞれ合計337,813,000円が計上されました。

「平成29年度山形村社会福祉協議会会計収入支出予算」の概要は以下のとおりとなります。



平成29年度 山形村社会福祉協議会 普通会員会費納入のお願い

山形村社会福祉協議会では、住民（会員）の皆さんより納入いただく会費を地域福祉事業（活動）の財源とさせていただいております。

今年度も皆様のご協力を、宜しくお願い申し上げます。

***普通(世帯)会員会費の納入期間 7月1日～7月31日**

連絡班ごとに納入いただきます。ご協力をお願い申し上げます。

寄稿① 「環境と福祉」

アマニの花が咲く山形村を夢見て



(前・埼玉医科大学教授、
埼玉医科大学短期大学名誉教授)

和 合 治 久

延伸という視点で、どんな役割を
発揮するのでしょうか。

アマ (Linum usitatissimum) という植物は、人間が初めて栽培した種類の一つです。古代エジプトでは、茎の繊維から布地が作られ、ミイラを包む布として利用されてきました。今日では、テーブルクロスやシーツなどのリネンとして繊維が活用されています。西暦800年代から、アマの種子(アマニ・Flax)が食用にされ、特に搾った油(アマニ油・Flax oil)は、健康の増進に役立つことが報告されるようになりました。この観点で、通称、アマをアマニとも呼んでいます。ではない、健康の増進や健康寿命において、

第1に、アマニ油には人間に必要な脂肪酸である α -リノレン酸がゴマの約100倍以上も含まれるため、動脈硬化やアレルギーなど生活習慣病の予防に適しています。また、便秘などの改善や皮膚のかゆみや抜け毛の予防に適しています。抗菌作用もあり、カンジダ菌などのカビの増殖を抑えます。さらに種子を煎じて服用すると、解毒あるいは鎮痛緩和に役立ちます。また、ゴマのセサミンに相当するリグナンという物質も多く含まれるため、抗酸化作用を発揮したり、女性ホルモンに類似の働きを示します。この結果、心臓疾患や骨粗しょう症、あるいは女性の乳がんや卵巣がん、更年期の

不調などの予防にも適しています。

第2に、アマニの茎には、食物繊維が乾燥重量の約28%も含まれるために、腸内の有用な細菌を増殖させたり、便通を改善する働きがあり、腸内環境を整えます。また、茎の繊維はリネンや和紙、コスター(油こし紙)、オムツやパッツ、マスクなどにも活用することができます。

第3に、アマニの根には、体力増強作用や肝機能改善作用などがあり、漢方医学でも注目されています。

ます。

最後に、アマニの葉には、止血作用があり、葉をもんで患部に使用されています。

このような素晴らしい機能性を備えたアマニはうす紫色の可愛らしい小さな花を咲かせます。まるで北海道の富良野の大地に咲くラベンダーのように人の心を癒やしてくれます。山形村に美しいアマニ畑の大自然が一面に広がり、人々の生活に潤いと安らぎをもたらして心豊かな地域になることを夢んでいます。



うす紫色に彩(いろど)るアマニの開花リレー

寄稿② 「環境と福祉」

「定年就農者の会」の活動から考える

(定年就農者の会)

降 籬 典 明

「定年就農者の会」という集まりが2013年秋、上大池の主に60歳代の人達で作られました。この会は、その名が示すとおり、これまで農業に携わらず勤め人として働いてきて定年を迎えた後、専業とまではいかなくとも多少農業に関わっていききたいという思いを持った人達の集まりです。会の目的は、個人の農業への関わりと共に、会として例えば遊休農地を利用することなどで、何か世の中の役に立ちたいという思いもありました。

発足して約3年半、当初10名弱だった会員数も2017年春20名となり、そして参加者の居住地区も山形村の各地区に及ぶようになり、今では他県からこの村に移住して来られた人も参加しています。会では作物毎に任意に参加を募り、グループを作って活動します。今年にはナス、ジュース用トマト、山ゴボウ、トウモロコシ、水稲、カボチャ、そばのグループがそれぞれ活動しています。(その他、

家庭菜園の畑を提供する活動も。但し今年は休止中。) 耕作面積は

全部で約50a余りになります。農業について素人集団ですが、ナスの収穫量は単一の生産主体としては山形村でおそらくトップ、ジュース用トマトは山形村の平均反収を超え、山ゴボウもJAに出荷可能な位のは出来るようになりました。作物を作る以上、より多く、より高品質のものを目指すことは自然です。しかし、われわれがこの会で本来目指すものは、生産量、出荷額などの経済的な指標ではありません。(それらが副次的な目標ではあっても)

「定年就農者の会」という名称について、改めて考えてみます。「農業に就く、定年者の会」という言葉には、いま現在、そして将来に亘って国、地方が抱える課題に連なる言葉が含まれています。そう、「衰退する農業と遊休化する農地」、「絶対数、構成比ともに増大するリタイア人口」という課題です。われわれはこのような大

きな課題に対峙するためこの会を作った訳ではなく(到底できせん)、たまたま定年者が農業を始めようとして始まった会に過ぎません。しかし、会の名称の字面を眺めていると、このような課題テーマに連なる名前を持った会であることに気が付きます。

農業の課題。これは、産業としての農が成立しなければなりません。定年者がちよこちよこ小さな土地で畑を耕してみても解決にはならないでしょう。リタイア人口の課題。「定年を迎えた人は農業をやりましょう」などと言うことは、おこがましきの極みです。これらへの対応は、やはり国、地方による政策的、制度的な施策を前提に社会的な取り組みが必要です。それでも、われわれにも何かが出来そうなの気がするのです。山裾の畑にそばを作ることが出来ます(耕作地が放棄されていくのは山裾の田畑からです)。後継者のいない土地を借受けて、一応出荷可能な作物を作って販売することが出来ます。朝の散歩の代わりにナスの収穫をすることが出来ます。

家庭菜園の参加者の中から、本格的に農業をやってみたいという女性が出ました。そう、その関わり方は様々あるにせよ、「農」と関わって生活していく

この具体例を提示することが出来るのです。そのことにより、今では「物好き」とか「変わり者」と呼ばれる農業を始める人が、人々の意識の変化によって普通の人になる日が来るでしょう。政策、制度の施策は外からの改革、われわれは意識の内からの改革。政策、制度が単なるイベントで終わってしまわないように、「農」に関わることを生活に溶け込ませること。リタイア人生の、多様な生き方のひとつの可能性を提示することができれば、われわれ「定年就農者の会」の活動は意味を持つてくるでしょう。このことが、「われわれがこの会で本来目指すもの」のような気がします。(そうは言っても、いい物をたくさん作りたいなあ！)



稲刈りの様子

ボランティアグループ

～指定福祉活動支援助成金（共同募金財源）を交付している

薪倶楽部 やまがた
寺西 正樹

*活動開始：平成26年4月から実施
*代 表：水嶋 邦明
*会員人数：4名
*主な活動：樹木の伐採

私たちは環境にやさしく、村も推奨している「薪ストーブ」を活用しています。

1. 活動の背景

ご承知のとおり、村では急速に高齢化が進んでいます。

そのため至る所で影響が出ていますが、そのひとつとして農地の耕作が出来なくなることによる、耕作放棄地が急激に増えています。

手が入らないので草木が茂り、雑木林になったりしています。同時に残念ですが村の美しい風景や景観が失われつつあります。そんな状況に危機感を感じています。

2. 活動の内容・目的

不要になったり処分困っている雑木林等の地主さんと連絡を取り、樹木を伐採させてもらい薪として活用させていただき活動をしています。

その結果、地主さんに喜んでいただき、私たちも喜び、村の景観も保てて地域に貢献出来るという「喜びのサイクル」を広めていくことが活動の目的です。

3. 活動例の紹介

<平成28年11月～12月にかけて>

村の山際地域の耕作放棄地で雑木林の伐採を実施しました。



伐 採 前



伐 採 後

この辺りは、熊が出没する地域です。

見通しが良くなって地域の方からも喜ばれたことがうれしかったです。

の紹介

団体を紹介します～

お問い合わせ
山形村社会福祉協議会 ボランティアセンター
Tel0263(97)2102

中大池健康花づくりの会

会長 上條 智佐雄

☆活動開始 平成22年から実施
☆会員数 18名
☆主な活動内容 公民館敷地花壇整備と
シニアの仲間づくり

「おや、こんな所にオキナグサ…」見れば石垣の脇。人の手では植えられない狭い所で、土もろくにない。「種が飛んできて自然発生でしょうね」。オキナグサの生命力を称えながら私たちは手を休めず、談笑をまじえ本年度の開園に向け作業に精を出す。ここ“中大池健康花づくりの会”は、平成22年に設立され今年で7年目に入った。

平均年齢70ウン歳、会員は18人。語り部の館の空き地（約6坪）と、第2公民館広場の両脇（約7坪）の2カ所で、花壇の土地は区から借用している。5月から11月にかけて、当番制で水くれ・草取りなど管理に務める。

この花づくりを語るについて、どうしても触れなくてはならない人がいる。事務局の上條民雄さん（文面以降は事務局）。事務局の発案と熱意で会が生まれ、名称も“健康花づくり”となった。もしも老人とか高齢者とか唱えていたら、会員は半分も集まらなかったであろう。事実、私もその1人。個人感で恐縮だが、私は水仙もチューリップも分からぬ花音痴。花壇など全く興味はないのだが、この『健康』の2文字に惹かれて入会をした。他にもそんな思いの人がいるであろう。

会長は2年おき、半ば年齢順で交替だが事務局はずーっと。肥料や花苗の手配、管理当番表の作成、毎年行っている名園や花づくり模範地の視察の企画など、一手に担ってくれている。そのリーダーシップに会員は最敬礼。

平成28年度は、思わぬ「村の地域づくり」の表彰を受けた。荷は重くなる。2カ所の管理だから会員ももっと増やしたい。募集は勿論だが、「楽しそうな会ですね、私もぜひ仲間に入れてください」。そんな魅力のある会になれば、花づくりは即仲間否、人づくりである。そして健康で1回でも医者通いを減らせるなら、国保の減額となり、回り巡って協働の村づくりにもつながるのではないか。



皆さんもぜひご参加ください！
お待ちしております



語り部の館での花植えの様子



昨年度、村から表彰を受けました

子どもたちと一緒に楽しく遊びや 体験をしてくれる方



夏休み好例の「子どもひろば」では、地域の皆さんの参加をお待ちしています！

「そういえば小学生の頃に参加したな～」と思っている中学生、高校生はもちろん、大学生、近所の「おじちゃん」「おばちゃん」、子どもの頃に真っ黒になって遊びませんでしたか？？子どもの頃にしか体験して得ることのできない培った遊びや、体験を地域の子も達にも味あわせてあげませんか。

日時 8月7日(月)～8月10日(木) 午前9時30分～午後4時
場所 コミュニティハウス建部の里や小坂公民館などを予定しています

お近くの場所で都合のつく時間、半日だけの参加でも大丈夫です。
全日程参加できなくても1日だけでもOKです！

皆さんのご参加をお待ちしています。

お問い合わせ 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会
TEL 97-2102 (担当：桐原 吉澤 吉田)

福祉なんで相談

一障害者年金・相続について 個別無料相談会一

☆平成29年度 障害者年金相談日☆

7月11日(火) 9月12日(火)

11月14日(火) 1月9日(火)

3月13日(火)

☆平成29年度 相続相談日☆

8月8日(火) 10月10日(火)



- ◆時間 午後1時30分～午後3時30分
(相談1件につき1時間程度)
- ◆会場 いちいの里すばる 相談室
- ◆料金 無料
- ◆下記連絡先まで、電話にてお申し込みください。
(当日予約優先となります)

お申込み・お問い合わせ
社会福祉法人山形村社会福祉協議会 TEL 97-2102 (担当：田中)



行政心配ごと相談



平成29年度 相談日

7月20日(木)	8月21日(月)
9月21日(木)	10月20日(金)
11月20日(月)	12月21日(木)
1月22日(月)	2月20日(火)
3月20日(火)	

相談員の方に家庭の事、お金の事、健康の事など様々な相談ができます。

- ◆時間 午後1時30分～午後3時30分
- ◆会場 保健福祉センター-いちいの里 談話室

まほろば (社協広報/第76号) 平成29年6月23日発行

- 発行所 社会福祉法人 山形村社会福祉協議会 (山形村保健福祉センター-いちいの里内)
〒390-1301 長野県東筑摩郡山形村4520番地の1 ☎0263 (97) 2102 FAX0263 (97) 2108
- ホームページアドレス <http://poponet-yamagata.or.jp/>
- 「まほろば」に載せきれなかった記事についてはホームページに掲載されていますので是非ご覧ください。

この印刷物は植物油インキおよび再生紙を使用しています。